

# 歴史資料グループだより

第6号

## 令和3年度の主な事業

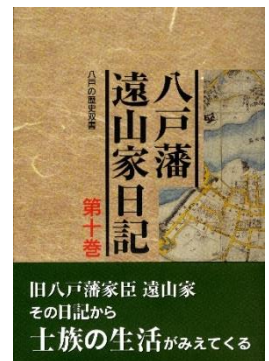
### 八戸の歴史双書

### 『八戸藩遠山家日記』第10巻 刊行！！

遠山家日記は、八戸藩の家臣遠山家の当主が、寛政4年(1792)から大正8年(1919)まで代々書き継いだ日記です。127年にもわたる日記は、全国的にも珍しく、平成28年(2016)に県重宝に指定されています。

第10巻は、明治5年(1872)から明治40年(1907)までの日記を収録しています。八戸町長となる遠山景三が見た、暦の変更、改名禁止、秩禄処分など、八戸の明治時代の実態がわかります。

なかでも明治39年(1906)の冬休み日記は、小学生の息子・景輔が話し言葉をそのまま書いており、読んでみると微笑ましい気分になります。



### 『八戸市立図書館収集文書目録』第4集 発行



当グループでは、地域に関する歴史資料を収集しています。収集した資料は、だれでも利用できるように目録を作成しています。第4集には、令和2年度に寄贈された資料を掲載しました。

収録資料の一つを紹介します。山本敏夫氏収集資料には、明治44年(1911)に開業した八戸水力電気株式会社が、是川に設置した発電所の建設工事中の写真があります。完成した是川水力発電所は、絵葉書になっていますが、工事の様子が見える資料は、あまりありませんでした。

#### ※収集資料クイズ※

大正・昭和時代に、八戸には「東北一の大劇場」と呼ばれた建物がありました。西村喜助によって二十八日町に建てられた建物は、何と呼ばれたでしょう？

イ. 当り座    ロ. お多福座    ハ. 錦座    ニ. 新開座

(答えは裏面にあります)



## 市史講座 開催

市史編さん事業の成果を紹介し、郷土の歴史に対する理解や関心を深めてもらえるよう、市史講座を開催しています。今年度は『新編八戸市史』通史編Ⅰ原始・古代・中世の執筆者・研究者を講師に迎え、縄文時代から中世までの様々なテーマに関する講座を5回開催しました。

今回は、新型コロナウイルス感染防止対策として、講座内容を事前に録画し、1日3回(10:00・13:00・15:00)、定員を上限20名として、上映しました。

第1回	6月12日(土)	漆と縄文人	小久保 拓也 (是川縄文館縄文の里整備推進グループリーダー)
第2回	12月11日(土)	八戸地方の古代エミシの村	宇部 則保 (是川縄文館発掘専門員)
第3回	延期(令和4年度へ)	清心尼と根城	熊谷 隆次 (八戸工業大学第二高等学校教諭)
第4回	10月16日(土)	南部師行と政長	滝尻 侑貴 (八戸市立図書館学芸員)
第5回	11月20日(土)	世界文化遺産としての県内と八戸の縄文遺跡	工藤 竹久 (八戸市文化財審議委員)

※第2回は、八戸市内の新型コロナウイルス感染者の増加により、延期して実施しました。第3回は、同様の理由で再延期となったため、令和4年度に行う予定です。



## 古文書解読講習会 開催

八戸市立図書館では、多くの古文書を所蔵しています。これらの古文書に親しんでもらうため、「くずし字」を学ぶ古文書解読講習会を開催しています。

第36回となった今年度の講座は、新型コロナウイルスの感染拡大による延期がありましたが、全7回実施し、延べ69名の方々にご参加いただきました。

前半の回は、よく使われるくずし字やその読み方、くずし字辞典の使い方などを解説し、後半の回は、くずし字で書かれた宝暦6年(1756)の八戸藩目付所日記を読みました。

### ※クイズの答え※

ハ. 錦座

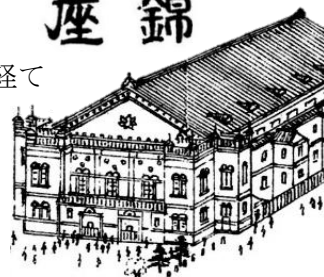
(大正5年(1916)に開場し、火災による再建を経て昭和17年(1942)まで営業しました。)

誤答解説: イ. 錦座の前身で、明治・大正時代に営業しました。

ロ. 大沢多門によって建てられました。

ニ. 鍛冶町にありました。

### 座 錦



発行・編集

八戸市立図書館 歴史資料グループ

〒031-0022 八戸市大字糠塚字下道 2-1

TEL・FAX 0178-73-3234

E-mail shishi@city.hachinohe.aomori.jp